2024年度 ニチキッズはくさんうら保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月18日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの発見や気づきに共感し、選択・決定する機会を大切にしながら、安心して自己表現ができるような関わりや環境設定を行うことができた。
子どもの発達援助	子どもの成長や発達の理解を深めると共に、子ども一人ひとりに合った活動内容や環境作りをミーティングや会議などで何度も話し合いを繰り返し、柔軟な保育を実践していくことを心がけた。
保護者に対する支援	連絡帳や送迎時は子どもの育ちを共有できる場ととらえ、日々の様子や成長を分かりやすく伝えることができた。また、悩みや相談にも1つ1つ丁寧に対応するよう心がけ、寄り添っていけるように努めた。
保育を支える組織的基盤	クラスミーティングで課題として挙げられたものを、園全体の課題として捉え、会議や園内研修などを活用し職員全員で話し合う機会を多く取り入れてきた。今後も方向性の統一を図り、チームで保育が行えるように取り組んでいきたい。

総評
保育園の保育理念や保育指針を踏まえた上で、子どもたちの発達に合わせた保育計画を立て、取り組むことができた。また、子どもの気持ちに寄り添い、1つ1つ丁寧に対応していくことで、子ども自身が安心して、自分の気持ちや自我を素直に表現できる保育士との関係性が構築できてきた。次年度に向けては、子どもの発達の理解をさらに深め、発達に合わせ一人ひとりがじっくりと遊び込める環境の設定や遊びの提供に取り組んでいきたい。